

平成29年の熱中症による救急搬送状況

救急企画室

1 はじめに

消防庁では、全国の消防本部を調査対象として、熱中症による救急搬送人員数の調査を行うとともに、熱中症予防啓発コンテンツの作成、Twitterによる注意喚起など熱中症予防の啓発活動の推進に取り組んでいます。

この度、平成29年5月から9月までの全国における熱中症による救急搬送状況を取りまとめましたので、その概要を報告します。

2 熱中症による救急搬送状況

① 救急搬送人員数（図1）（表1）

5月から9月までの全国における熱中症による救急搬送人員数の累計は、52,984人でした。

月別の救急搬送人員数は、7月が最多で26,702人、8月が2番目で17,302人でした。

週別の救急搬送人員数は、7月10日から8月6日までの期間、4週連続で5,000人を超えており、厳しい暑さが続いたこの時期に、熱中症による救急搬送人員数が集中する結果となりました。

図1 熱中症による救急搬送状況（平成29年）「調査開始から各週ごとの比較」

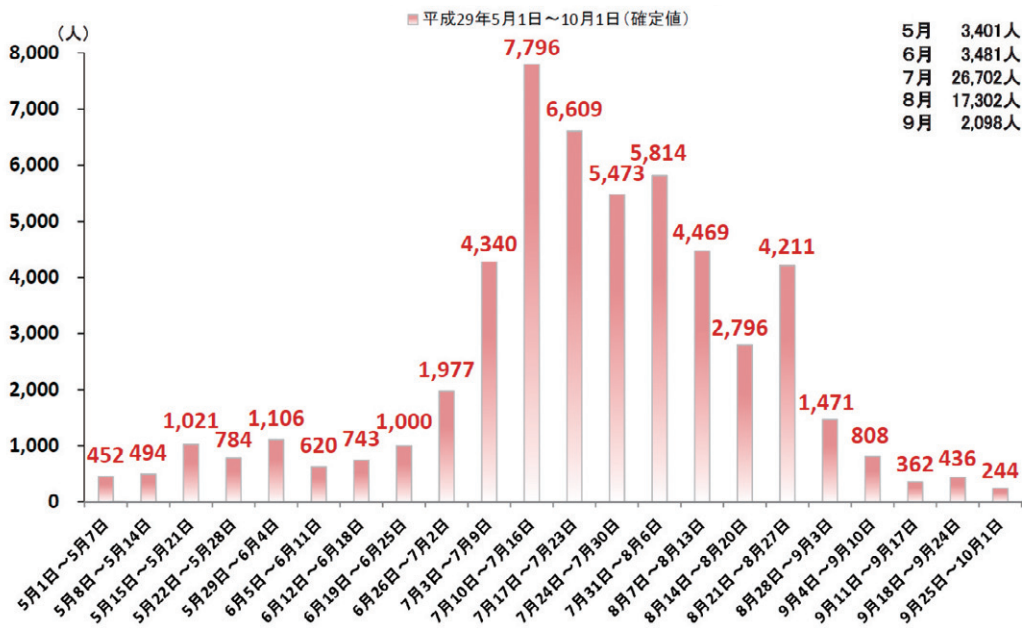


表1 熱中症による救急搬送状況（平成23年～29年）「救急搬送人員及び死亡者数（年別推移）」

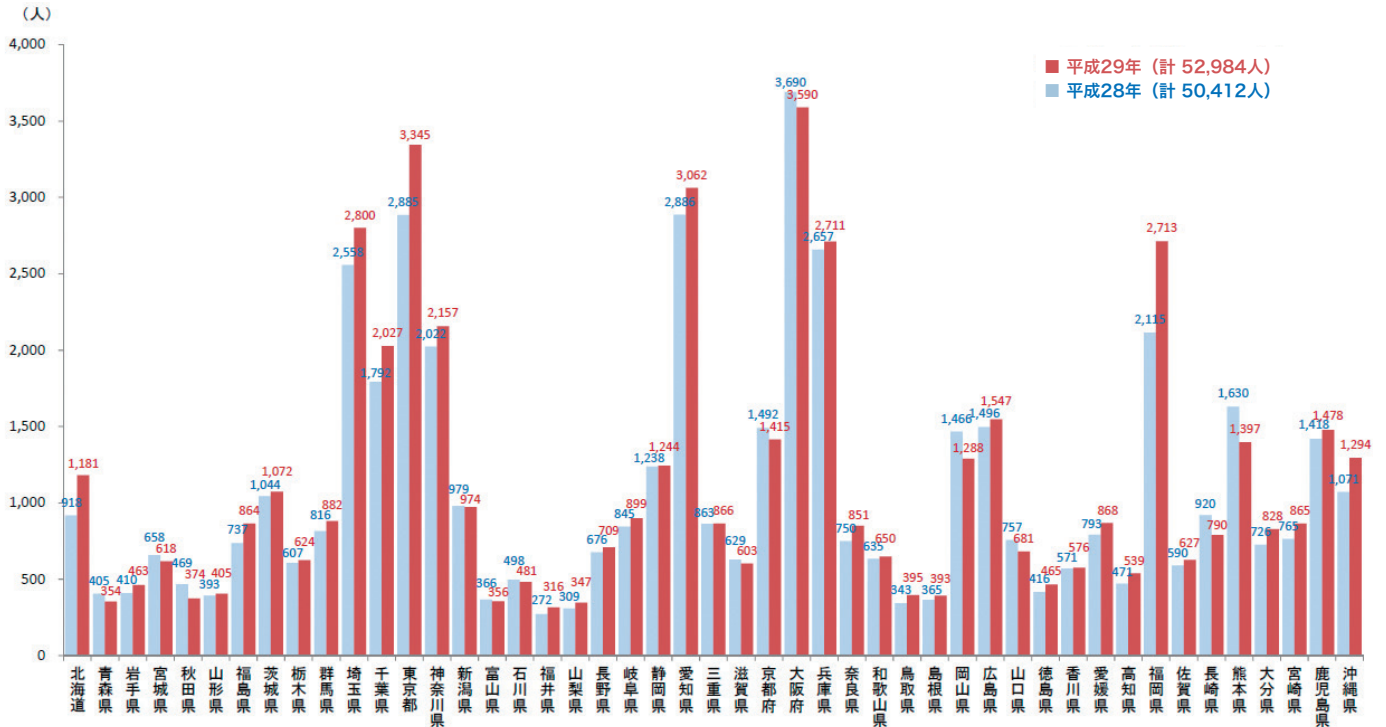
		(単位：人)													
		平成29年(2017)		平成28年(2016)		平成27年(2015)		平成26年(2014)		平成25年(2013)		平成24年(2012)		平成23年(2011)	
		搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡
確定値	5月	3,401	2	2,788	1	2,904	3	調査データなし							
	6月	3,481	1	3,558	3	3,032	2	4,634	6	4,265	4	1,837	3	6,980	14
	7月	26,702	31	18,671	29	24,567	39	18,407	31	23,699	27	21,082	37	17,963	29
	8月	17,302	14	21,383	24	23,925	60	15,183	15	27,632	57	18,573	35	17,566	27
	9月	2,098	0	4,012	2	1,424	1	1,824	3	3,133	0	4,209	1	3,960	3
救急搬送人員数(5月から9月)		52,984	48	50,412	59	55,852	105								
救急搬送人員数(6月から9月)		49,583	46	47,624	58	52,948	102	40,048	55	58,729	88	45,701	76	46,469	73

② 都道府県別の合計 (図2)

5月から9月までの熱中症による救急搬送人員数の合計52,984人のうち、大阪府が3,590人で最も多く、次いで

東京都3,345人、愛知県3,062人、埼玉県2,800人、福岡県2,713人、兵庫県2,711人となりました。

図2 熱中症による救急搬送状況 (平成29年) 「都道府県別救急搬送人員数 (昨年比)」



③ 年齢区分別搬送人員数 (図3) (表2)

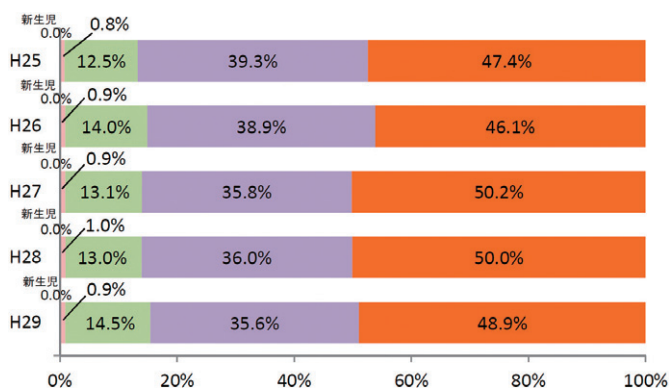
5月から9月までの熱中症による救急搬送人員数の合計52,984人のうち、高齢者が25,930人で最も多く、次いで成人18,879人、少年7,685人、乳幼児482人の順となりました。

高齢者の割合が約半数を占めています。高齢者は暑さやのどの渇きを自覚しにくいなど体の変化に気付きにくい状態であることが多く、それが原因の一つと考えられます。また、小さな子供は汗腺の発達が未熟で、体温調節が苦手であり、熱を放散しにくく熱中症にかかりやすいと考えられます。

表2

	年齢区分 (人)					合計
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	
H25年	6	466	7,367	23,062	27,828	58,729
	0.0%	0.8%	12.5%	39.3%	47.4%	100%
H26年	4	359	5,622	15,595	18,468	40,048
	0.0%	0.9%	14.0%	38.9%	46.1%	100%
H27年	2	503	7,333	19,998	28,016	55,852
	0.0%	0.9%	13.1%	35.8%	50.2%	100%
H28年	4	482	6,548	18,150	25,228	50,412
	0.0%	1.0%	13.0%	36.0%	50.0%	100%
H29年	8	482	7,685	18,879	25,930	52,984
	0.0%	0.9%	14.5%	35.6%	48.9%	100%

図3 年齢区分 (構成比)

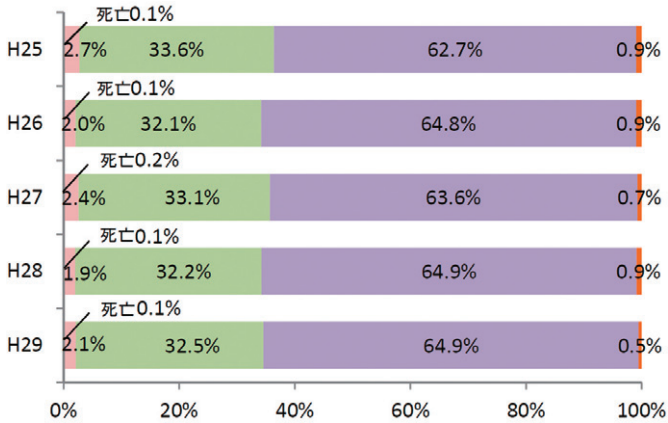


■ 新生児：生後28日未満の者
 ■ 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
 ■ 少年：満7歳以上18歳未満の者
 ■ 成人：満18歳以上65歳未満の者
 ■ 高齢者：満65歳以上の者

④ 傷病程度別搬送人員数 (図4) (表3)

5月から9月までの熱中症による救急搬送人員数の合計52,984人のうち、軽症が34,382人で最も多く、次いで中等症17,199人、重症1,096人、死亡48人の順となっています。

図4 初診時における傷病程度別救急搬送割合の年別推移



- 死亡：初診時において死亡が確認されたもの
- 重症（長期入院）：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- 中等症（入院診療）：傷病の程度が重症または軽症以外のもの
- 軽症（外来診療）：傷病の程度が入院加療を必要としないもの
- その他：医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの

※なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区別しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だった者や通院による治療が必要だった者も含まれる。

表3

	初診時における傷病程度 (人)					合計
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	
H25年	88	1,568	19,754	36,805	514	58,729
	0.1%	2.7%	33.6%	62.7%	0.9%	100%
H26年	55	787	12,860	25,967	379	40,048
	0.1%	2.0%	32.1%	64.8%	0.9%	100%
H27年	105	1,361	18,467	35,520	399	55,852
	0.2%	2.4%	33.1%	63.6%	0.7%	100%
H28年	59	981	16,242	32,696	434	50,412
	0.1%	1.9%	32.2%	64.9%	0.9%	100%
H29年	48	1,096	17,199	34,382	259	52,984
	0.1%	2.1%	32.5%	64.9%	0.5%	100%

⑤ 発生場所ごとの項目別搬送人員数 (図5) (表4)

発生場所ごとの項目については、今年度初めて調査を行いました。5月から9月までの熱中症による救急搬送人員数の合計52,984人のうち、住居が19,603人で最も多く、次いで公衆（屋外）7,351人、道路7,131人、仕事場①5,648人となりました。

図5 発生場所ごとの項目 (構成比) (平成29年)

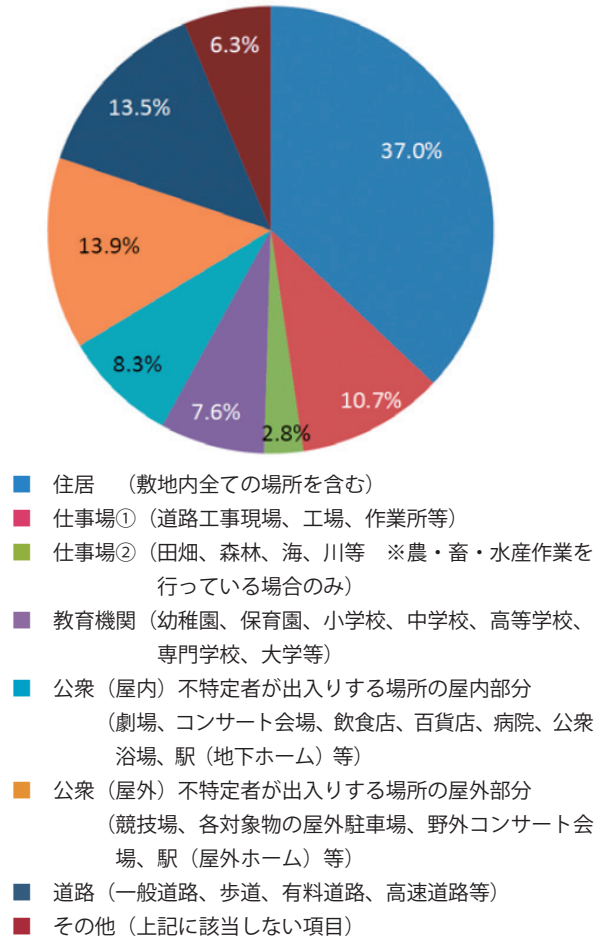


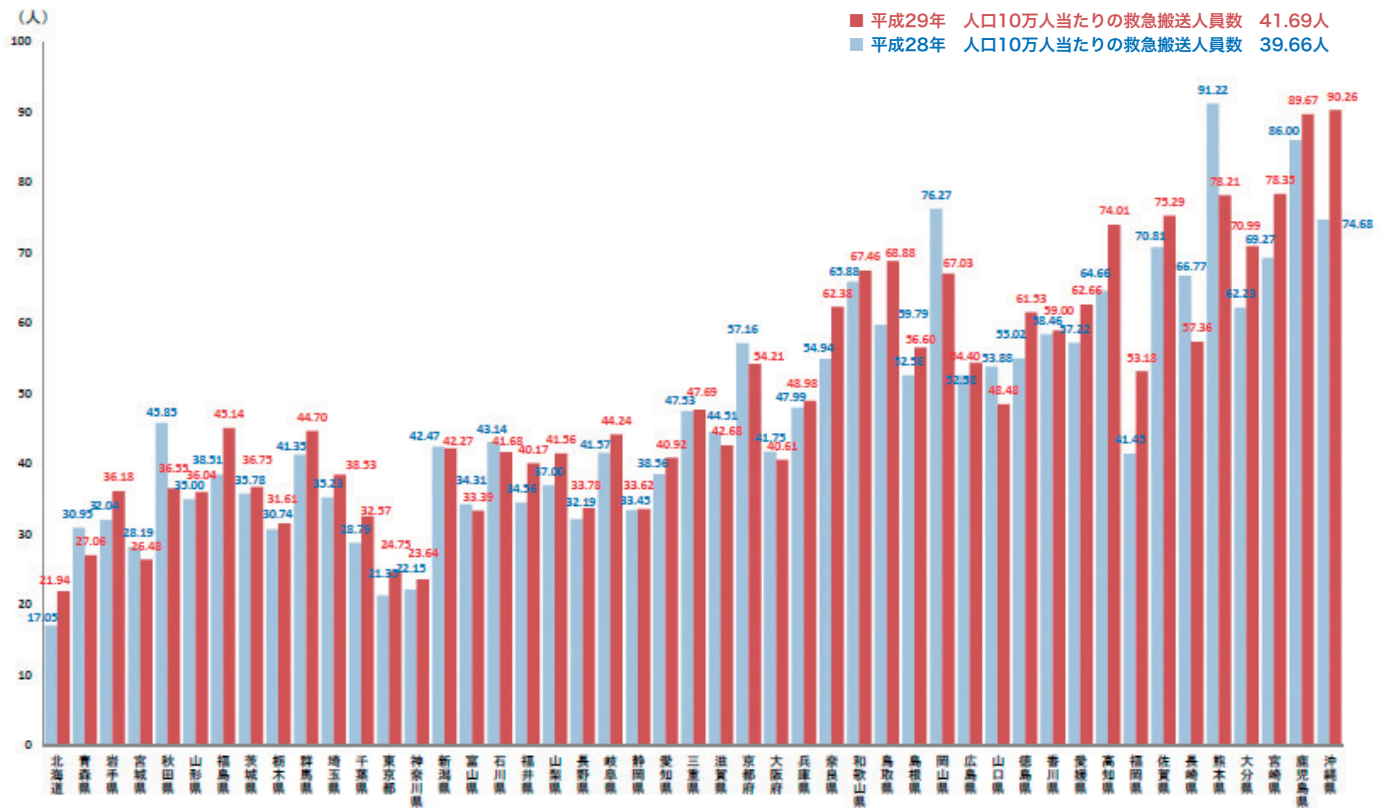
表4

発生場所 (人)								
住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	合計
19,603	5,648	1,490	4,037	4,385	7,351	7,131	3,339	52,984
37.0%	10.7%	2.8%	7.6%	8.3%	13.9%	13.5%	6.3%	100%

⑥ 都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数 (図6)

平成29年の都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数は、沖縄県が最も多く90.26人であり、次いで鹿児島県89.67人、宮崎県78.35人、熊本県78.21人、佐賀県75.29人の順となりました。

図6 熱中症による救急搬送状況（平成29年）「都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数（昨年比）」



※平成27年国勢調査の各都道府県人口を基に算出しています。

3 消防庁の取組

消防庁は、消防庁HP「熱中症情報」サイトにおいて、熱中症予防のための予防啓発コンテンツとして、予防啓発ビデオ、予防啓発イラスト、予防広報メッセージ、熱中症対策リーフレット、熱中症予防ポスターを提供するとともに、熱中症による救急搬送状況（週報、月報）の公表、Twitterを活用した注意喚起や情報提供等積極的な啓発を行いました。

7月に発生した九州北部豪雨の際には、福岡県・大分県の消防防災主管部宛に「被災住民等の熱中症対策について」事務連絡を发出して、被災した住民やボランティアの方に熱中症予防や予防対策の注意喚起を行いました。

また、今年度の熱中症による救急搬送人員数のデータを、「熱中症情報」サイトで公表をしていますので、御活用ください。

4 おわりに

熱中症は、正しく理解し、適切な予防をすることで、発症を防ぐことが可能です。また、周囲の気遣いで高齢者や子供の熱中症発症を食い止めることもできます。最

近は熱中症に関する社会的な関心や認知度も高まってきており、予防方法や応急手当に関しても広く知られるようになってきました。

消防庁では、これからも関係省庁と連携をとりながら、熱中症に関する注意喚起や情報提供を行っていきます。

消防庁熱中症情報（予防啓発コンテンツもこの中に掲載しています）

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

熱中症対策リーフレット

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2/pdf/leaflet.pdf

平成29年の熱中症による救急搬送状況（報道発表資料）

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/10/291018_houdou_3.pdf

問合わせ先

消防庁救急企画室
TEL: 03-5253-7529